

平成 28 年 6 月 16 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之
(コード番号 : 8303 東証第一部)

岩手県宮古市におけるメガソーラー事業向けプロジェクトファイナンスの組成について

当行は、Nippon Solar Services 合同会社(東京都港区、Managing Director Olivier Renon、以下、「NSS」)が開発し、Sonnedix Power Holdings Limited(以下、「Sonnedix」)が主たる投資家となる岩手県宮古市の発電容量約 30 メガワットの大規模太陽光発電所(以下、「メガソーラー」)に対し、融資金額約 107 億円を限度とするプロジェクトファイナンスを組成し、平成 28 年 6 月 15 日に融資契約を締結しました。本メガソーラーは、大和ハウス工業株式会社が調達、建設、O&M(Operation & Maintenance、運転管理・保守点検)を担当します。

NSS は、Sonnedix の日本における投資事業運営会社として日本でのメガソーラーの開発、運営、管理を行っており、本メガソーラーのアセットマネジメント業務を行うとともに、一部出資いたします。また、Sonnedix は、世界 8 カ国で 49 カ所、合計 200 メガワットを超えるメガソーラーの操業実績を有しております。NSS は、岩手県宮古市の約 65 ヘクタールの用地に平成 28 年後半の予定でメガソーラーを着工し、平成 31 年に運転を開始する予定です。

当行では、再生可能エネルギー事業を含むプロジェクトファイナンスを第三次中期経営計画における成長分野の一つと定め、平成 24 年度より注力してきた国内事業者によるメガソーラー事業に対するファイナンス組成の実績を活かして、近時は外資系投資家が主たる投資家となる優良なメガソーラーに対しても積極的にプロジェクトファイナンス組成を行っております。当行の持つ高度なリスク分析力やストラクチャリング能力などの専門性を活かし、今後も幅広い事業者のファイナンスニーズにお応えすることで、日本の再生可能エネルギーの安定的な成長を支援してまいります。

【プロジェクトの概要】

事業名称 : 岩手県宮古市メガソーラー事業
発電容量 : 約 30 メガワット
オペレーター・スポンサー : Nippon Solar Services 合同会社
主たる投資家 : Sonnedix Power Holdings Limited
商業運転開始 : 平成 31 年の予定

※本格稼働後、発電する電力は、平成 24 年 7 月に施行された「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく電力供給契約により、20 年間にわたって全量を固定価格にて東北電力株式会社に売電。

【融資概要】

契約金額 : 総額 約 107 億円
契約締結日 : 平成 28 年 6 月 15 日
貸付人 : 株式会社新生銀行

以 上